

## 平成28年度第3回豊後大野市地域公共交通会議 及び 第3回豊後大野市地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日時：平成29年3月7日（火）午後15：25～

場所：豊後大野市役所 4階 正庁ホール



### I. 開会

事務局：それでは、平成28年度「第3回豊後大野市地域公共交通会議」と「第3回豊後大野市地域公共交通活性化協議会」を始めさせていただきます。

本日は最後まで宜しくお願いいたします。

会長挨拶ですが、先ほどのバス停コンテスト表彰の際に申し上げておりますので、省略させていただきます。

### II. 会長あいさつ

(省略)

会長：それではまず、報告事項について事務局お願いします。

### III. 報告事項

コミュニティバス、あいのりタクシーの運行状況等について

事務局：資料説明（省略）

会長：ただ今の説明について、何か質問やご意見などございますか。

亀井委員：平成28年の8月だけ利用が多くなっていますが、この理由については、分かりますでしょうか。

事務局：理由については現段階では不明です。詳細について後ほど調べてみたいと思います。

会長：あいのりタクシーの特に清川地区での利用は確実に増えています。大人の社会見学の効果があったということだと思います。やはり、一度乗車体験してもらって、便利だと実感してもらうことが重要なのではないかと思います。それでは、続きまして議題に移ります。

#### IV. 議題

##### 豊後大野市地域公共交通網形成計画について

事務局：資料説明（省略）

会長：ただいま事務局から説明がありましたが、委員の皆様からの質問等ございましたらお願いいたします。

日坂委員：タクシー業界としては、補助金もない厳しい状況の中で、企業努力を行い、現在豊後大野市で5社が運行しています。そうした中で、病院送迎の活用という項目が上がっていますが、以前、福祉の無償運送の話が出た時も、私どもは反対しました。しかしながら、そのような無料の送迎サービスがどんどん進んでいる状況です。タクシーは夜間や緊急対応などで活用されることも多いですが、このままの状況ですと、夜間などに営業できなくなり緊急対応には救急車を呼ばないといけない、という事態にもなりかねません。病院送迎のこれ以上の活用はタクシー業界にとっては非常に好ましくない方針かと思っております。

事務局：説明不足で申し訳ございませんでしたが、病院送迎の活用というのは、今の無料の病院送迎をもっと増やすという考え方ではありません。今の病院送迎を集約して新たな有料の公共交通サービスが考えられないか、ということです。タクシー業界の厳しい状況もある程度把握しているつもりですので、タクシーを活用した公共交通についても検討していければ、と思います。

足立建委員：高齢者福祉課からですが、福祉施策として高齢者の居場所づくりという事業を進めておりまして、市内7カ所で実施していますが、その中で昼間の移動手段がない、という意見を聞いております。そうした移動ニーズにタクシーの活用なども考えられるのではないかと思います。

羽田野誠委員：社会福祉課からですが、福祉の有償運送については、協議会で審議した上で運行されるもので、大分県内では日田市だけで実施されていると聞いており

ます。高齢者については買物難民の対策が課題だという話もありますので、その中でタクシーの活用含め検討できるのではないかと思います。ところで、警察か陸運支局にお聞きしたいのですが、病院や旅館等で無償で送迎しているサービスについては、登録や認可などはどのようになっているのでしょうか。

谷委員：旅館の送迎については特に問題ありません。ただ、観光地巡りなどをする場合は、行政指導が入ったということは聞いております。詳細は陸運支局さんの方からお願いしたいと思います。

下郡委員：自家用の運送は文字通り自分用ですので、無償の場合は道路運送法上も特に登録や認可は必要ありません。事業用の場合は、登録申請や認可が必要になってきます。

赤嶺委員：タクシー協会ですが、コミュニティバスはタクシーと競合する部分も当然あり、そういう中で、協会としてコミュニティバスの運行業務を受託もしているわけですが、これはバスも同じだと思いますが、運転士不足が大きな問題になっています。また、高齢化も進んでおり、大分県のタクシー運転手の平均年齢は62.7歳にもなります。そういう状況の中で、旧町村単位での営業所が維持できなくなりつつあります。

病院送迎は、病院側も患者の囲い込みのための戦略として実施されているのは分かりますが、タクシー会社の経営を圧迫しているのは間違いありません。そうした中で、病院からタクシー会社に相談が来ています。内容は安全面でのお話で、病院送迎の運転手の方は普通の事務員や看護師さんなど素人の方がやっていて、事故対応などが不十分だということです。そこで、タクシー会社に運転士派遣などができないか、と相談に来られているわけです。旅客運送では安全が第一ですから、この形成計画でも安全面を十分考慮した計画にしていなければ、と思います。

会 長：病院送迎については、慎重に検討するように、事務局お願いします。他に何かありますか。

亀井委員：全体として、利用者は減少しているということによろしいのでしょうか。

事務局：コミュニティバスは減少していますが、あいのりタクシーは横ばいという感じですか。

亀井委員：そうした中で、やはり人口は減少していくので、利用者はこれからさらに減少していくことが考えられます。その際に重要なのは、利用ターゲットを明確にすることかと思います。子どもと高齢者がターゲットになると思いますが、高齢者人口は増えているのでしょうか、減っているのでしょうか。高齢者をターゲットとした場合は、外出回数を増やすことが利用増加につながるかと思えます。それから、観光客の取り込み、市外からの利用者をどのように増やすか、という課題もあるかと思えます。

足立委員：豊後大野市の高齢化率は41%で、人口としては1万5千人程度でほぼ横ばいという状況です。75歳以上だと減少しています。

日坂委員：観光面での取組みとしては、社団法人の里の旅公社が行っているガイド付きのジャンボタクシーでのツアー企画で市外からのお客さんが微増していると聞いています。まだPRが足りないと思いますので、今後さらに情報発信が必要ではないかと思います。

会 長：豊後大野市の観光資源であるジオパークやエコパークに磨きをかける必要もあるでしょう。それから、免許返納の対応についてですが、なにか特典をつけた場合、免許を持っていない人との不公平感が出てしまう、という問題がありますので、まだいろいろと検討が必要かと思います。

他に何かありますか。それではないようでしたら、この議案についてご承認いただけます方は拍手をお願いいたします。

一 同：拍手多数

会 長：それでは、拍手多数ということでご承認いただきました。

## V. その他

会 長：その他で何かありますか。特にないようでしたらこれで終了します。

## VI. 閉会

事務局：以上を持ちまして本日の会議を終了させていただきます。ありがとうございました。

以上

平成 28 年度第 3 回「豊後大野市地域公共交通会議」

「豊後大野市地域公共交通活性化協議会」

委員出欠名簿

(以下敬称略、順不同)

	氏 名	所 属 等	出欠	代理出席者	
				職 名	氏 名
委 員	赤嶺 謙二	行政機関（市） 豊後大野市副市長	○		
委 員	衛藤 孝典	住民代表 豊後大野市自治会連合会長	○		
委 員	木下 孝行	豊後大野市コミュニティバス関係者 豊後大野市コミュニティバス運営協議会長	○		
委 員	芦刈 憲司	地元経済団体 豊後大野市商工会長	○		
委 員	今仁 淳一	行政機関（県） 大分県豊肥振興局地域振興部長	○		
委 員	亀井 敏和	行政機関（県） 大分県豊後大野土木事務所長	○		
委 員	谷 雅英	行政機関（警察） 大分県豊後大野警察署交通課長	○		
委 員	児玉 吉充	鉄道事業者 JR九州(株)大分支社 総務企画課運輸担当課長	○		
委 員	脇 紀昭	一般旅客自動車運送事業者(組織する団体) (一社)大分県バス協会専務理事	○		
委 員	漢 二美	一般旅客自動車運送事業者(組織する団体) (一社)大分県タクシー協会会長	代理	事務局長	赤嶺 義美
委 員	安部 隆志	一般旅客自動車運送事業者 大野竹田バス(株)代表取締役	○		
委 員	神品 雄一	一般旅客自動車運送事業者 豊後大野市タクシー協会会長	代理		日坂 泰弘
委 員	大島 幸生	運転手が組織する団体 大野竹田バス乗務員代表	○		
委 員	渡海 一成	運転手が組織する団体 豊後大野市タクシー協会乗務員代表	○		
委 員	大井 尚司	学識経験者 大分大学経済学部経営システム科准教授	欠		
委 員	下郡 譲治	九州運輸局大分運輸支局 首席運輸企画専門官(企画調整担当)	○		
委 員	久世 和彦	九州運輸局大分運輸支局 首席運輸企画専門官(輸送・監査担当)	欠		
委 員	足立 哲啓	行政機関（市）公共交通担当 豊後大野市まちづくり推進課長	○		
委 員	加藤 郁	行政機関（市）福祉有償運送担当 豊後大野市社会福祉課長	代理	課長補佐	羽田野 誠
委 員	足立 建士	行政機関（市）高齢者福祉担当 豊後大野市高齢者福祉課長	○		
委 員	羽田野房徳	行政機関（市）市道管理者 豊後大野市建設課長	○		
委 員	真部 直廣	行政機関（市）スクールバス担当 豊後大野市教育委員会教育総務課長	○		